

戦略プロジェクト

■戦略プロジェクトに取り組む背景

総合計画では、平成37年における本市の人口を 281,800人と推計し、10年間で約2万人弱の人口が減少することが見込まれている。急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるため、特に重点的・施策横断的な取組として次のプロジェクトに取り組むものである。

■子育て応援プロジェクト（平成27～29年度）

生産年齢人口の減少が進む中、活力ある社会を築いていくため、若い世代にとって暮らしやすい、また女性にとって社会進出や子育てがしやすいなど、若い世代や女性が住み続けたいくなるまちをつくることが本市の重要課題となっている。

そのために、若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育て、盛岡に住み続けたいと思えるようなさまざまな支援を行い、子育てにやさしいまちを実現する。

■きらり盛岡おでんせプロジェクト（平成27～29年度）

人口減少・少子高齢化社会の進行、地方の衰退、グローバル化の進展を背景に都市間競争が激化する中、まちの活力を維持していくためには、定住人口の保持や交流人口の増加を推進していくことが本市の重要課題となっている。

そのために、本市の恵まれた観光資源の活用や盛岡ブランドの展開などにより、観光客や盛岡ファンを増やすとともに、MICE（マイス）の誘致を通じ交流人口を増やし、にぎわいを創出し、魅力あふれるまちを実現する。

■「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（平成29～31年度）

人口を維持していくためには、若者がどれだけ盛岡に残り、定住してもらえるのかという課題があり、この課題解決のためには、「やりがいのある仕事」、「安定した雇用形態」、「相応の賃金」といった雇用の質を重視した取組が重要であり、経済・産業全体の付加価値や生産性の継続的な向上につなげていくことが必要である。

当市においても、人口減少社会の進展により、農畜産物や工業製品等のマーケット縮小や新規就農者をはじめとする農業の担い手の不足が懸念される中、食と農に関わる事業者やものづくり産業に属する事業者が事業活動の展開を図り、雇用を維持・創出することが重要課題となっている。

そのために、一定の評価を得ている魅力のある盛岡産農畜産物の高付加価値化を図るとともに、食品加工産業やものづくり産業への支援、企業の誘致や異業種交流の促進などにより、第1次産業や第2次産業の成長を後押しし、活力のあるまちを実現する。

重点 1

子育て応援プロジェクト

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境の充実を図る。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現する。

■ 期待する効果 **みんなで子育てを支えるまちになる**

■ 重点取組期間 **平成27～29年度（3年目）**



■ 目標指標

指標	単位	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 目標値
① 待機児童数	人	9 (H27.4.1)	0 (H28.4.1)	- (H29.4.1)	0 (H30.4.1)
② まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どもがいる親の割合	%	19.3	21.9	24.0	16.4
③ まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	15.5	13.3	15.2	30.2

■ 主な取組の成果と課題

○ 待機児童解消への取組

認可保育所の新設等により、前年より168人の定員拡大となり、26年4月1日時点からの合計では、420人の定員を拡大した。

これにより、28年4月1日時点で待機児童数は0人となったものの、空き待ち児童が298人いることから、引き続き、保育施設等の整備を進めるとともに、保育士の確保についても取り組む必要がある。

○ 育児不安解消への取組

「子育てをつらいと感じている」と答えた子どもがいる親の割合が、19.3%(H26)から24.0%(H28)と増加しているが、28年4月には、保健師、助産師、社会福祉士を配置した「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠・出産・育児期における切れ目ない支援体制を整備するとともに、乳児家庭全戸訪問を段階的に拡充するなど、育児不安の軽減に取り組んできた。

引き続き、子育て世代包括支援センターにおいて、妊産婦等に対し、包括的な相談・支援を提供するとともに、年度内に開所を予定している「子育て応援プラザ」を子育て中の親が集える場や子育てを支える市民、団体等が活動、交流できる場とすることで、育児不安の解消や子育てに対する孤立感や負担感の解消を図っていく必要がある。

■ 今後の取組

待機児童解消に向けて、保育定員の拡大を実施する施設の増改築に要する費用を国の保育所等整備交付金を活用して補助し、定員の拡大を図る。併せて、保育士の処遇改善や奨学金の返還を支援するなどの保育士確保対策に取り組む。

また、「子育て応援プラザ」や「子育て世代包括支援センター」において、切れ目ない支援体制の整備を強化するとともに、育児不安の解消などの課題解決に向けて、引き続き戦略プロジェクトとして取り組む。

■ 重点事業

施策	重点事業
<p>施策2 子ども・子育てで、 若者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども未来基金事業 ・ 子育て世代包括支援センター事業 ・ 子育て応援プラザ運営事業【新規】 ・ 子ども・子育て支援事業計画推進事業 ・ 特別保育事業（延長保育実施施設の拡充）【拡充】 ・ 私立児童福祉施設整備助成事業【拡充】 ・ 待機児童解消強化事業 ・ 保育士確保対策事業【新規】 ・ 私立児童福祉施設等運営事業（保育士等の処遇改善）【拡充】 ・ 認定こども園等運営費給付事業【拡充】 ・ 地域児童クラブ等運営事業（放課後児童クラブ整備費補助）【拡充】 ・ 児童館管理運営事業（児童厚生員の配置の拡充）【拡充】 ・ 乳児家庭全戸訪問等事業【拡充】 ・ 小児救急輪番制病院事業 ・ 医療費給付事業（妊産婦、乳幼児、小学生）
<p>施策4 健康づくり・医療 の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間急患診療所管理運営事業 ・ 予防接種事業（幼児・児童インフルエンザ予防接種補助事業）
<p>施策19 社会を担う人材の 育成・支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワーク・ライフ・バランス推進事業



重点 2

きらり盛岡おでんせプロジェクト

歴史、自然、文化、先人、まち並みをはじめとする、本市の恵まれた観光資源を生かし、盛岡の魅力に触れ、満足してもらうため、新たな観光資源の開発や掘り起こし、ブラッシュアップを推進する。

また、盛岡ブランドなど当市のきらり光る魅力を多様な手段で発信するとともに、「スポーツ」や「食」などを切り口に、更なる交流人口の拡大と盛岡ファンづくりを推進する。

- 期待する効果 **魅力ある観光資源と盛岡ファンづくりを通じて、多くの人を訪れるまちになる**



- 重点取組期間 **平成27～29年度（3年目）**

■ 目標指標

指標	単位	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H29 目標値
① 観光客入込数※1 ※1 H29 目標値は、H25 実績値「472万人回」を基に設定。	万人回	497	509	-	490
② まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	%	68.7	77.7	78.5	79.4
③ 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	位	58	63	117	53

■ 主な取組の成果と課題

○ 観光客誘致等の取組

宿泊客数が約96万人泊、教育旅行来校数（延べ校数）も949校と前年を下回ったものの、年間観光客入込数は、5年連続で前年を上回る約509万人回であった。これは、首都圏等において開催した盛岡デーや、函館等で開催されたイベントへの出展により積極的に盛岡の魅力を発信するとともに、ミラノ万博等海外における盛岡の文化や食などのプロモーションによる継続した取組によるものである。

また、27年から創設したMICE開催助成制度は、年々助成件数が増えているほか、28年12月に開催したILCに関する国際会議（LCWS2016）においても有効に活用されていることから、更なる制度の活用を図り、各種コンベンションを誘致するとともに、国内外に盛岡ファンを作り、盛岡を旅行先として選んでもらえるよう、観光客誘致の展開を力強く推進する必要がある。

○ 地域資源のブラッシュアップ

首都圏等で開催する物産と観光展等では、盛岡らしさを伝える南部鉄器などが人気を博しているほか、盛岡三大麺を始め盛岡の食や盛岡ブランドの展開により、国内外へのプロモーション活動を実施しているが、更なる盛岡ファンの獲得を図るためには、継続した取組と観光資源のブラッシュアップを推進するとともに、音楽やスポーツなど当市の地域資源を活用した交流促進と賑わい創出を図る取組が必要である。

○ 外国人観光客等受入環境整備への取組

外国人観光客入込数は、27年に前年の4割増となる13,599人回となり、今後もアジア諸国を中心として増加傾向が続くと考えられることから、更なる外国人観光客の誘致促進に向けて、観光案内板などの多言語表記などの受入環境の整備を図るとともに、関係機関や関係団体などと連携し、積極的な海外プロモーションや宣伝活動を行う必要がある。

○ 広域連携による取組

東北六魂祭を契機とした東北六都市連携によるプロモーション活動や後継イベント等に取り組むとともに、盛岡広域市町等との連携による観光の振興を図っているが、更なる観光のマーケットの拡大が想定される中、都市間連携の強化と盛岡を拠点として広域市町と一体となった活動を展開することが求められている。

■ 今後の取組

目標指標である観光客入込数は、目標を達成しているものの、宿泊客数や教育旅行の停滞、外国人観光客の受入環境整備など課題があるほか、国の観光政策への対応、日本への外国人旅行者が増加している反面、他地域に比べ東北地方への観光客が少ないことなどから、観光客の更なる増加に向け、引き続き戦略プロジェクトとして取り組む。

また、交流人口の拡大に資する取組として、北上川を活用した観光資源の開発、盛岡城跡公園を主会場として開催する、いしがきミュージックフェスティバル、スポーツツーリズムを通じたまちづくりとして、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の有形・無形のレガシーを未来に引き継ぐオリンピック事前キャンプ誘致やプロスポーツとの連携などの事業に取り組む。

■ 重点事業

施策	重点事業
施策1 3 スポーツの推進	・ 盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業【拡充】
施策1 4 「盛岡ブランド」 の展開	・ 盛岡ブランド確立事業 ・ 盛岡の川賑わい創出事業【新規】 ・ 地域おこし協力隊活用事業【新規】
施策1 9 社会を担う人材の 育成・支援	・ いしがきミュージックフェスティバル支援事業【拡充】
施策2 2 商業・サービス業 の振興	・ 盛岡三大麺普及事業
施策2 4 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業 ・ 盛岡デー等観光PR事業 盛岡市の物産と観光展開催事業（北海道・首都圏） 盛岡デー開催事業【拡充】 誘客重点市場・物産販路新規開拓調査事業 東北六都市連携による誘客・地域産品プロモーション事業 東北復興イベント開催事業【新規】 ・ 祭り・イベント振興事業(盛岡さんさ踊り40回記念事業)【拡充】 ・ M I C E誘致推進事業 ・ 玉山地域賑わい創出事業（総合交流ターミナル機能の拡充）（新規） ・ 地域おこし協力隊活用事業【新規/再掲】



盛岡デーイン東京 2016

重点 3

「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組により産業の振興を図る。

また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進する。

■ 期待する効果

産業の魅力・活力があふれるまちになる

■ 重点取組期間

平成29～31年度（新規）



『もりおかマチナカ商談会 & もりおか広域地域の食 de 交流マルシェ』の様子

■ 目標指標

指標	単位	H26 実績値	H27 実績値	H28 実績値	H31 目標値
① 農畜産物加工品販売額	百万円	16	18	-	27
② 製造業粗付加価値額 ^{※2}	千万円	4,144	4,209	-	4,377
③ 異業種交流における商談成立件数 ^{※3}	件	-	27	-	110

※2 製造業粗付加価値額 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたもの。

※3 異業種交流における商談成立件数の目標値は27年度実績からの累積数値とする。

■ 現状と課題

- 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会において、全国から訪れた選手団等を地元の食材を活用した料理でのおもてなしは、関係者から高い評価を得るとともに、盛岡産農畜産物の魅力を全国に発信することができた。
- 28年9月から本格スタートした「もりおか元気応援寄附推進事業（ふるさと納税）」では、返礼品として、盛岡の食品や工芸品などを取り揃え、中でも盛岡りんごに人気があったことから、返礼品のメニュー開発に力を入れるとともに、更なる食材や工芸品の魅力向上を図る必要がある。
- 食と農の連携推進については、6次産業化の取組の検証が不十分であるとともに、6次産業品目を含めた盛岡産農畜産物のPRが不足していることから、農商工連携や6次産業化、ブランド化による農畜産物の高付加価値化と販路拡大などの支援をする必要がある。
- ものづくり産業の拠点となる用地が少ないことから、その受け皿を整備する必要がある。
また、地場企業や伝統産業は、グローバル競争の激化、人材不足など、経営上の課題を抱えていることから、産学官連携を中心とした創業やベンチャー企業の研究開発の支援、企業の生

産効率等への取組支援に努めるとともに、盛岡広域の地場産品の魅力向上を促進する必要がある。

- 商店街の空き店舗解消や商品の魅力向上にニーズがあることから、空き店舗への出店を支援するとともに、異業種交流の促進により、新商品開発と販路拡大などの支援をする必要がある。

■ 今後の取組

食と農の連携をベースとした「所得の向上と夢のある農業」の実現に向けた戦略を策定の上、1次産業と2次産業、3次産業の連携を強化し、魅力ある盛岡産農畜産物のブランド力向上と販路拡大、6次産業化の支援、盛岡の食の魅力発信等を推進するとともに、産直施設における食の拠点機能の強化に取り組む。

さらに、成長が見込まれる企業の集積と産学官や企業間などの連携による新技術・新商品開発、高付加価値化を実現するための「ものづくり拠点」としての新たな産業等用地の整備に取り組む。

また、地場企業をはじめ創業間もない企業等の成長を支援するため、産業支援施設の機能を十分に発揮するほか、工場新設や拡充に伴い財政支援をするとともに、空き店舗の解消等により商店街の賑わいを創出する。

■ 重点事業

施策	重点事業
施策2-1 農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食と農の連携推進事業 ・ 食と農のバリューアップ推進事業【新規】 ・ 盛岡の食材プロモーション事業 ・ 新規就農・経営継承総合支援事業【拡充】 ・ 畜産振興事業 ・ もりおか短角牛振興事業 ・ もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業【新規】 ・ 地域おこし協力隊活用事業【新規/再掲】 ・ 玉山地域賑わい創出事業（総合交流ターミナル機能の拡充）【新規/再掲】
施策2-2 商業・サービス業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなかマッチング事業 ・ 商店街活性化支援事業（まちなか出店促進事業）【拡充】
施策2-3 工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業支援事業 ・ 工場新設拡充等事業 ・ 新産業等用地整備事業【新規】 ・ 工業振興事業（盛岡工業団地に隣接する工場用地整備）【新規】 ・ ものづくり産業魅力向上事業【新規】



盛岡りんご